



大門中だより

令和4年3月25日発行

東久留米市立大門中学校
〒203-0011 東久留米市大門町 2-13-8

<http://www.higashikurume-school02.jp/~dai-j/>

TEL: 042-474-1753 fax: 042-472-7997

校長 若澤 直樹

進級 グレードアップの時

先週3月18日、寒さの中でしたが、厳粛でありながら、体育館の中はとても暖かい雰囲気です。第47回卒業式を挙げることができました。会場内の密を避けるため1年生は参加させることができませんでしたが、2年生は準備や式進行のための大切な係活動もあり、式の間は教室でリモートでの参加をして先輩の姿を見ることといたしました。

卒業生は式練習の時から自分たちのしっかりと旅立つ姿を後輩に見てもらおうことで何かを残したい、という気持ちで練習に臨んでいました。その姿を見ていた2年生は進級し最上級生になるということへの心構えを意識できたのではないかと思います。

言葉として進級の意味を伝えるだけでなく、先輩の姿から感じることや、入学してくる新入生の姿から感じることで、そこから生徒一人一人が自分の行動を考えていくことで、進級というタイミングを自身の成長につなげてくれることを期待しています。

この1年の成長の評価 絶対評価と個人内評価

卒業生のために作成したスライドショーを卒業式後に来場の保護者の方に見ていただきました。入学した1年生当時の写真を見て、私も一人一人の3年間での成長を再認識し、あらためてこの中学校での3年間がいかに大きなものかということを感じました。

さて、本日お子様にお渡しした通知表に記載されている各教科の評価・評定は【絶対評価】です。これは学ばせたい内容に対してどれぐらい身に付けられたかを達成率として判断し、A・B・Cあるいは5・4・3・2・1という形でお伝えするものです。20年ほど前までは中学校では通知表で【相対評価】を伝えていました。こちらは学年全体の中で成績順に並んだとしたらどの位置にいるかを伝えるというものでした。絶対評価にすることで、周囲がどれだけ頑張るかとは関係なく、シンプルに自分が身に付けた力はどれぐらいであるかを知って、これから頑張れる要素を考えるために使うことができる、ということになりました。

しかし、一方でこの1年間で自分がどれだけ成長できたかは、絶対評価でも読み取りにくい部分があります。各教科での結果には出せなかった頑張った部分の評価も大切ですし、教科以外での成長もとても大切です。1年前と比べて、視野はどれだけ広がったのでしょうか。考え方はどれだけ深くなったのでしょうか、自分の行動や周囲への責任感はどれだけ成長したのでしょうか。これらは【個人内評価】として、その人その人の1年前の状況と比べていくことが必要です。学校では、個人内評価は授業の中での声かけや面談、通知表では所見などで伝えていくようにしています。しかしそれだけでは十分ではありません。

家庭の中では子どもの成長は見えにくい部分も多いと思いますし、毎日接していると日々少しずつの変化はわかりにくいと思います。まして行動の変化は“三歩進んで二歩下がる”ではないですがその時々での振れ幅が大きいかも知れません。しかし、1年前を思い出してみると見えてくる成長があるのではないかと思います。子どものことを一番身近で考えているご家族にしか分からない部分での成長を評価することも大切だと考えます。

評価の大きな目的はその子にとっての成長するための糧とすることです。是非その変化は通知表でお伝えした評価と併せてご家庭で評価し励ましてあげてください。

令和3年度 薬物乱用防止ポスター

最優秀賞

2年B組 片桐 紗英



優秀賞

2年A組 都賀木乃葉



優秀賞

2年C組 遠藤みなみ



第47回 卒業式

3月18日(金)第47回卒業式が厳粛な雰囲気の中行われました。在校生は直接参加することはできませんでしたが、大門中の良き伝統を引き継いでいってください。



～ 4月の主な予定 ～

6日	(水)	始業式 入学式準備	19日	(火)	3年全国学力・学習状況調査 腎臓検診
7日	(木)	入学式	20日	(水)	生徒個人写真撮影 腎臓検診 職員会議
8日	(金)	学年時間割始	21日	(木)	歯科検診
11日	(月)	新入生歓迎会	22日	(金)	中央委員会
12日	(火)	身体計測 心臓検診	25日	(月)	生徒会朝礼 内科検診
13日	(水)	校内研修会	26日	(火)	
14日	(木)		27日	(水)	部活動保護者会
15日	(金)		28日	(木)	
16日	(土)	学校公開 全学年保護者会	29日	(金)	昭和の日
18日	(月)	避難訓練 専門委員会 ①カット			